



一般社団法人 わらび座

第一期決算 ご報告と御礼

2021年9月1日～2022年8月31日

一般社団法人わらび座

第一期決算のご報告と御礼

平素より、一般社団法人わらび座の活動にご支援、ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

この度、一般社団法人わらび座の理事会にて
第1期（2021年9月1日～2022年8月31日）の
決算書類報告・事業報告を行い、承認されましたので、
ご報告させていただきます。

民事再生手続き中の株式会社わらび座から
劇団事業・雇用の承継を行い、コロナ禍による
公演の中止・延期のリスクを抱えながらの
一年間ではございましたが、
多くの皆様のご支援のもと、
無事に二期目を迎えることができました。
心より感謝申し上げます。



経営数値

損益計算書 概要

単位：千円

	第一期	対経常収益比率
経常収益	222,613	—
事業費	71,933	32.3%
管理費	145,933	65.6%
当期経常増減額	4,747	2.1%
正味財産期末残高	3,236	1.5%

損益計算書 総括表

単位：千円

科目	第一期	比率
収入	222,613	—
ツアー公演料収入	87,118	39%
劇場事業収入	57,075	26%
アウトリーチ収入	6,310	3%
寄付金・スポンサー収入	64,416	29%
わらび座の会 会費収入	5,470	2%
その他収入	2,224	1%
運営費用	217,866	—
事業費	71,933	33%
管理費	145,933*	67%
当期経常増減額	4,747	
一般正味財産期末残高	3,236	
正味財産期末残高	3,236	

* 人件費 95,407千円

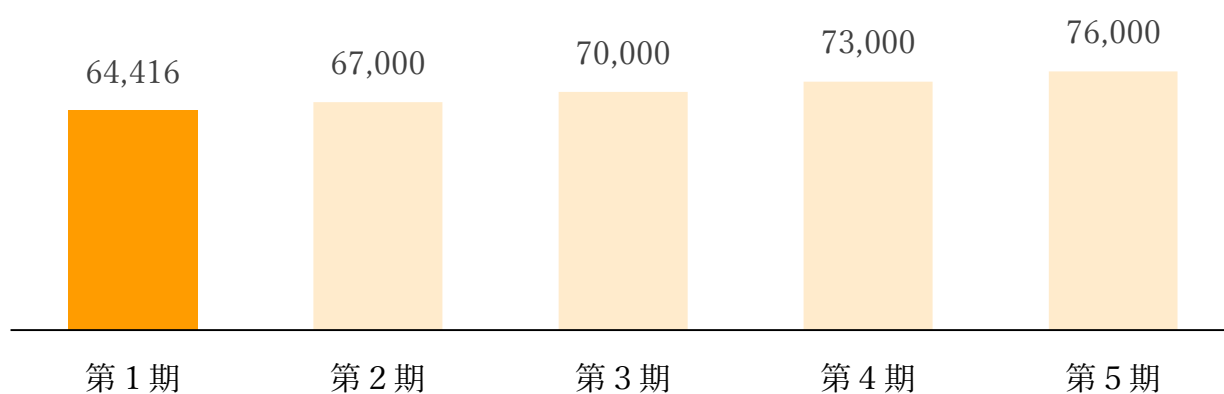
現状と目標

寄付金・スポンサー収入

単位：千円

第1期 実績	第2期 目標	第3期 目標	第4期 目標	第5期 目標
64,416	67,000	70,000	73,000	76,000

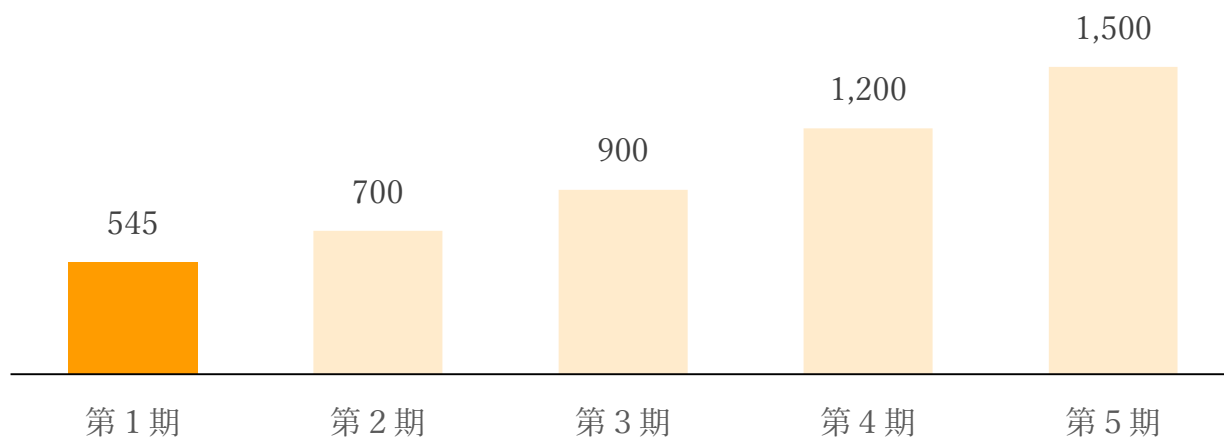
※ふるさと納税による委託事業費は含まれておりません



わらび座の会 有料会員数

単位：人

第1期 実績	第2期 目標	第3期 目標	第4期 目標	第5期 目標
545	700	900	1,200	1,500

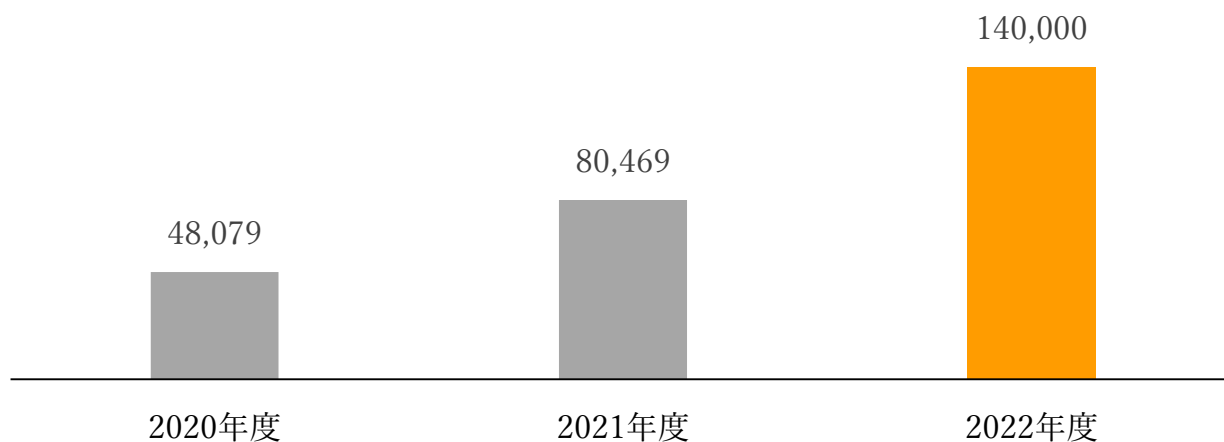


現状と目標

主要公演の観客動員数

単位：人

	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 見込み
合計	48,079	80,469	140,000
わらび劇場	17,825	19,452	20,000
全国公演	30,254	61,017	120,000



2022年度 主要公演





経営数値に関する分析

第一期は正味財産期末残高323万円で着地し、黒字経営を達成することができました。これも支援者、スポンサー及び関係団体の皆様、公演を観に来て下さるファンの皆様のおかげです。あらためて心より感謝申し上げます。

一方で、今期も新型コロナウイルス感染症の影響により、公演の中止・延期が相次ぎました。劇団わらび座を運営する新法人として、まさに嵐の船出となった訳ですが、外的要因に左右されることのない安定的なマネジメントを目指して、Jリーグ等のプロスポーツに学びながら経営基盤の強化を図って参ります。

なお、今期は劇団の旧運営法人（株式会社わらび座）の民事再生申し立てに伴い、法人設立後の半年後である3月1日から段階的に事業と雇用を承継してまいりました。その為、実質的には約半期分の収支となっております。

収入全体に対する寄付金・スポンサー割合が29%を占めておりますが、入場料や公演料に依存しない新たな仕組みの構築は急務であり、その割合を高めていくこと、そしてそれらを含めて収入全体を増やしていくことが重要と考えています。

今後の事業方針

■ 劇場事業

わらび劇場、あきた芸術村・小劇場で秋田の歴史や文化をもとにした作品を上演し、演劇を活用した子どもたちのふるさと教育を推進し、そして地域の文化振興、観光振興の面でも貢献します。

また秋田県からの委託事業、文化庁の助成事業を活用して、民族芸能・伝統文化の維持普及につながる活動も積極的に行います。



■ 公演事業

長引くコロナ禍も考慮して、ツアー公演の緩やかな回復と同時に、それ以外の収入源を拡大させていくことが基本方針です。

支援企業・団体による公演の買い取り、人材育成を目的にしたアウトリーチ事業の開催、わらび座の会の会員拡大を通して、収入の安定化をはかっていきます。



■ スポンサーシップ事業

WGA「一般社団法人わらび座」支援協議会のサポートもいただきながら、寄付金・スポンサーを拡大していきます。

同時にフレンドリータウン協定締結自治体のネットワークも構築し、より地域と連携しながら、劇団ならではの社会貢献事業を創出します。



最後に

一般社団法人わらび座は、株式会社システムソフトfabbit事業本部から、2021年11月より事業再生支援を受けてまいりました。

具体的には、固定費の削減を含む経費の合理化、顧客獲得のための営業方法及び支援企業の紹介等、経営のノウハウをしっかりとご教示頂きました。

その結果、当初の目的である劇団事業の承継、及び地元従業員の雇用確保に関して一定の目途が立ち、民事再生開始決定から一年間という予定通り、2022年11月1日をもって、上記のサポート業務期間は満了しました。

同社には支援の輪を広げるサポートを今後も継続していただきます。